



2017年2月6日

各位

会社名 日本たばこ産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小泉 光臣
 (コード番号 2914 東証第一部)
 問合せ先 I R 広報部 (TEL 03-3582-3111 (代表))

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会におきまして、2016年12月31日を基準日とする剰余金の配当について、下記のとおり、決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当内容

	決定額	直近の配当予想 (2016年2月4日公表)	前期実績 (2015年12月期)
基準日	2016年12月31日	同左	2015年12月31日
1株当たり配当金	66円	64円	64円
配当金の総額	118,203百万円	—	114,606百万円
効力発生日	2017年3月27日	—	2016年3月24日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、中長期に亘る持続的な利益成長につながる事業投資を最優先に実行し、同時に事業投資による利益成長と株主還元のバランスを重視するという経営資源配分方針を掲げています。

加えて、株主還元方針については、強固な財務基盤^(注1)を維持しつつ、中長期の利益成長に応じた株主還元の向上を図ることとしております。具体的には、以下の3点となります。

- 一株当たり配当の安定的・継続的な成長を目指す
- 自己株式の取得は、事業環境や財務状況の中期的な見通し等を踏まえて実施の是非について検討
- なお、引き続きグローバルFMCG^(注2)の還元動向をモニタリング

この資源配分及び株主還元の方針に則り、当期末の1株当たりの配当金を66円とさせていただく予定です。従いまして、年間では中間配当64円を含め、1株当たり配当は130円となる予定です。

なお、本件は2017年3月24日開催予定の第32回定時株主総会に付議する予定です。

(注1) 「財務方針」として、経済危機等の環境変化に備えた堅牢性及び事業投資機会等に対して機動的に対応できる柔軟性を担保する強固な財務基盤を保持する

(注2) ステークホルダーモデルを掲げ、高い事業成長を実現しているFast Moving Consumer Goods (日用消費財) 企業

(参考) 年間配当の内訳

基準日	第2四半期末	期末	年間
前期実績	54円	64円	118円
当期実績	64円	66円	130円
来期予想	70円	70円	140円

以上